

立正大学文学部 図書館司書課程

「高山正也先生特別講義」のお知らせ

<演 題>

“現代日本図書館の誕生秘話—NDL と CIE、そして JLS”

<講 師>

高山 正也 先生

(慶應義塾大学名誉教授、前国立公文書館館長、本学講師)

・日時：2017年(平成29年)1月11日(水)第6時限(18:00~19:30)

・場所：立正大学品川キャンパス 11号館 1171教室

図書館司書課程では、高山正也先生に「図書館基礎特論」の授業をご担当いただいています。先生は、日本の図書館情報学の第一人者として、長らく慶應義塾大学文学部で教鞭をとられ、多くの業績をあげられてきました。ご著書も数多く、本学の司書課程でも先生の編集・執筆された『図書館概論』等の教科書を使っています。

残念ながら今年度で先生は本学講師をご退任されることになりました。それにあたり、広く先生の講義を聴講する機会として、特別講義を開催いたします。

講義では、太平洋戦争後の日本の図書館をめぐる動きについて、光をあてていただきます。現在の図書館の姿を方向づけた歴史的な経緯について、先生の見解もまじえてお話しいただくことは、現在の図書館の在り方を考える貴重な機会になると思われま

す。この特別講義は、司書課程の「図書館とその歴史」および「図書館情報資源概論 C」の授業の一部として行いますが、司書課程履修者に限らず公開いたしますので、ふるってご聴講ください(申し込みは不要です。当日直接教室にお出でください)。

高山正也先生略歴：

1941年大阪府生。1970年慶應義塾大図書館・情報学修士課程修了。1985～2006年慶應義塾大文学部教授。2009～13年独立行政法人国立公文書館館長。主な著書：『図書館業務の基本原則』(訳。勁草書房、1985)、『図書館・情報サービスの理論』(訳。勁草書房、1990)、『現代日本の図書館構想』(共編著。勉誠出版、2009)、『歴史に見る日本の図書館—知的精華の受容と伝統』(勁草書房、2016)ほか

問い合わせ先：

立正大学文学部図書館司書課程
(中井万知子、岡村光章)

mnakai@ris.ac.jp